

いつも、インシデント報告ありがとうございます  
インシデントより学ぶ「内用液剤」の取扱い  
京大病院医療安全情報49

## 【mg→mL換算時の 計算間違いにご注意】

内用液剤を投与する際に、指示が「mg」表示だったため、看護師が「mL」に換算したところ、計算を誤り10倍量投与した。計算の際、ダブルチェックはしていなかった。

投与の際は「mL」への換算が必須ですが、現在のところ内服指示簿に併記して印字することはできません。  
小数点の間違いが、過量過少投与につながります。  
計算間違いを防ぐために、以下の徹底をお願いします。

- 計算が必要な場合は必ずダブルチェック！  
2人が各々で計算し、その値を照合すること
- できるだけタイムリーに病棟薬剤師に計算量が正しいか確認してもらう

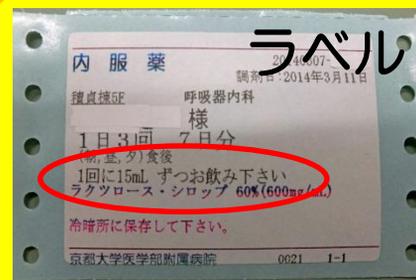
内用液剤に関連して、  
液剤には**原液**と**加水**があること  
をご存じですか？  
それぞれで取り扱う際に注意すべき  
ことがあります。（次ページへ）



## 【内服液剤の取扱い注意点】

### ＜原液の場合＞

原液のまま払い出されるため、ラベルは「mL」で表示されている。薬剤に計量カップもしくはスポイトが添付されているので、表示された量を計量して投与する。



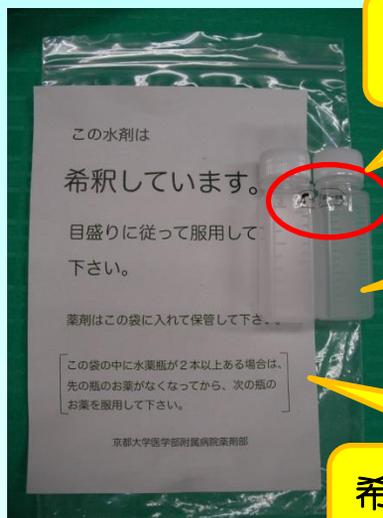
指示が「mg」であっても、払い出しラベルには「1回に0mL ずつ」と表示している

箱で払い出される際は、ラベルは箱に貼ってあります。捨てずに薬剤と一緒に保管してください。

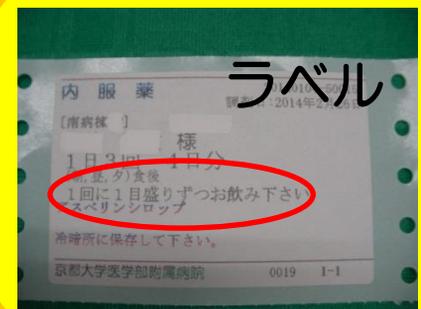
ただし、指示量の変動する場合は、ラベルに表示された量が投与量ではなくるので注意が必要です。

### ＜加水の場合＞

薬剤を水で薄めて内服しやすいように量を調整して払い出している。ボトルに「一回は一目盛り」のシールが貼付してあり矢印のある目盛りに従って投与する。



「一回は一目盛り」のシール



指示が「mg・mL」であっても、払い出しラベルには「1回に1目盛り ずつ」と表示している

希釈（加水）していることを明記しています。必ず、この袋に入れて保管してください。